

別記第2号様式（結果の公表）

『鴨川市過疎地域持続的発展計画（案）』に対する意見募集結果をお知らせします。

鴨川市過疎地域持続的発展計画（案）について、みなさまからご意見を募集しました結果は以下のとおりでした。これらの意見を参考とさせていただき、鴨川市過疎地域持続的発展計画を策定いたしました。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

**【策定した政策の名称】**

鴨川市過疎地域持続的発展計画

**【政策等の案を公表した日】**

令和3年7月8日

**【意見募集期間】**

令和3年7月8日（木）から令和3年8月6日（金）まで

**【意見の提出状況】**

- 1 意見提出者 8人
- 2 延べ意見数 27件
- 3 意見提出方法  
窓口への文書の提出1件、ファクシミリでの提出1件、電子メールでの提出6件

**【提出された意見と市の考え方】**

別紙のとおり。

なお、ご意見は趣旨を損なわない範囲で要約、集約をさせていただきました。

**【実施担当課／問い合わせ先】**

鴨川市役所 経営企画部経営企画課企画係 電話番号 04-7093-7827

**【お知らせ】**

このたび策定した「鴨川市過疎地域持続的発展計画」については、市ホームページのほか、次の場所で閲覧することができます。

鴨川市役所3階 経営企画部経営企画課

鴨川市役所1階 市政情報コーナー

## 鴨川市過疎地域持続的発展計画（案）に係るパブリックコメント実施結果

鴨川市過疎地域持続的発展計画（案）を公表し、それに対する市民の皆様からのご意見を募集するパブリックコメントを実施したところ、以下のとおり貴重なご意見を頂きました。  
寄せられたご意見の内容と、それに対する市の考え方等をお示しします。

### 【パブリックコメント手続実施結果】

#### 1 案件名

鴨川市過疎地域持続的発展計画（案）

#### 2 募集期間

令和3年7月8日（木）～令和3年8月6日（金）

#### 3 募集方法

市ホームページ、経営企画課、市政情報コーナーにおいて「鴨川市過疎地域持続的発展計画（案）」を公表し、意見を募集しました。

#### 4 意見の提出件数 27件（意見提出者8人）

#### 5 意見の概要と市の考え方

（1）第2章 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 4件（3人）

意見の概要	市の考え方
○Iターン・Uターン移住者の支援、空き家、公共住宅の提供や家賃補助、鴨川の子供達の大学進学支援（教育費の支援、家賃の支援）、卒業後鴨川へのリターンを促進する事業などを追加して欲しい。	移住定住支援事業として、東京圏から本市に移住して市内で就業し、又は起業する者に鴨川市移住就業支援金を交付しています。 また、看護師や介護福祉士養成施設に限られますが、看護師等確保対策事業、介護人材確保対策事業として、修学資金の貸付けを行っています。
○市からの祝い金（婚活・出産）事業を追加して欲しい。	ご意見については、移住定住支援事業等の実施にあたり、参考とさせていただきます。
○四方木地区では、高齢者に焦点を絞った施策が必要である。提案したいのは、高齢者のためのケア付き戸建て有料老人ホームの建設である。四方木は、豊かな自然環境で空地（荒地）も多く、戸建て有料老人ホームの実現が可能である。	有料老人ホームの建設は、民間企業の誘致を目指すなど企業立地の促進により実現を図ります。

<p>○移住・二拠点居住・企業立地・起業を想定した具体的な検討を支援する「トライアルステイプログラム」、「トライアルステイ用住宅整備事業」、「ワーケーション拠点整備事業」等を追加して欲しい。また、地域住宅支援事業の住宅取得奨励金が3件となっているが、不十分である。</p>	<p>ワーケーションについては、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、働き方に大きな変化が見られていることを踏まえ、その促進を図っていきます。</p> <p>ご意見については、企業立地等促進事業や移住定住支援事業等の実施にあたり、参考とさせていただきます。</p> <p>住宅取得奨励金は、5年間の計画として15件に修正しました。</p>
--	--

(2) 第3章 産業の振興 11件(6人)

意見の概要	市の考え方
<p>ア 農林水産業の振興</p> <p>○有害鳥獣対策事業の捕獲・駆除だけではなく、ジビエとして販売や飲食店での提供などの取組が必要である。</p>	<p>有害鳥獣対策事業には、ジビエ販売などに対する各種の支援を含んで計画しています。</p>
<p>○移住者の定着のためには、農地等の整備や森林の保全と活用に関する事業の追加が必要である。</p>	<p>全市的に農林水産業に関する施策・事業を幅広く実施しており、本計画においても、これらの事業を農林水産業の振興の対策として記載しています。</p>
<p>イ 商工業の振興</p> <p>○コロナ禍による働き方改革支援として、テレワーク・オフィスの地方分散、企業誘致、ICT環境の充実、ベンチャー企業の支援として企業誘致などの事業を追加して欲しい。</p>	<p>企業立地等促進事業として、一定の要件を満たす事業所の新增設に対し、企業立地奨励金や雇用促進奨励金を交付しています。</p> <p>また、中小企業等支援事業として、事業資金等の融資や利子補給等による支援を行っています。</p> <p>ご意見については、企業立地等促進事業等の実施にあたり、参考とさせていただきます。</p>
<p>○生鮮食料品を販売する量販店がないことから、買い物難民が増えていることから、対策を検討して欲しい。</p>	<p>高齢者等見守りネットワーク事業などを通じ、買い物支援に取り組みます。</p>
<p>ウ 観光の振興</p> <p>○「(仮称) さとうみ学校の整備・運営等により、地域内外・多世代間のスポーツ・文化交流を促進する必要がある。」を「(仮称) さとうみ学校の整備・運営等により、地域内外・多世代間のスポーツ・文化交流と地域コミュニティ拠点化・経済発展の拠点化を促進する必要がある。」に修正して欲しい。</p>	<p>小湊さとうみ学校の地域コミュニティ拠点化については、整備を進める小湊さとうみ学校に交流スペースを設置する予定であり、地域内外の人々が集い交流できるスペースとしての利用を見込んでいます。</p> <p>小湊まちづくり会議の議論では、「暮らしに根ざし、かつ来訪者にも魅力的な場」として、地域の伝統、産業を伝え、受け継ぐ機能を有するよう</p>

	<p>にすることを指すとしています。</p> <p>経済発展の拠点化については、今後、施設拡充について検討を進めていく中で具体的な方針を決定します。</p>
<p>○さとうみ学校の早期開業、さとうみ学校周辺の利便性向上（コミセン、郵便局、バスターミナル、サロン）、集客による経済と地元事業の活性化、鯛神輿の展示、月1回の市の開催等の事業を追加して欲しい。</p>	<p>小湊さとうみ学校については、施設の早期オープンに向け準備を進めています。</p> <p>今後、施設拡充について検討を進めていく中で具体的な方針を決定します。</p>
<p>○町内会において聴取した意見①～⑦を十分に反映した内容にしていただきたい。</p> <p>①「小湊さとうみ学校」内に産直マルシェがオープンしたら、散歩がてら歩いて買物に行けるから便利だ</p> <p>②自家用車（運転免許証）がない者にとって、今後は隣町までバスで買物に行かなくて済む</p> <p>③天津小湊地区には「お茶」する場所が1件も無いので、買物ついでに「お茶・ランチ」ができる店も併設してもらいたい</p> <p>④現在の小湊郵便局には駐車場が併設されていないので、利用者は国道の路側帯に駐車して、とても危険だ。この機会に「小湊さとうみ学校」に移転してはどうか</p> <p>⑤小湊郵便局が保育園跡地に移転すれば、ATMを利用したついでに買物ができる</p> <p>⑥産直マルシェは「みちの駅」の縮小版みたいだ</p> <p>⑦「小湊さとうみ学校」は“全国で一番海水浴場に近い林間学校”として評判になるに違いない</p>	<p>小湊さとうみ学校については、小湊まちづくり会議の議論では、モノのやりとりを通じて交流できる機能などを包含することを指すとしています。</p> <p>これらの機能については、今後、施設拡充について検討を進めていく中で具体的な方針を決定します。</p>
<p>○鴨川市は観光で成り立っている地域であることから、第3章「産業の振興」中の「観光の振興」に重点をおいて、さらに詳述すべきではないか。</p>	<p>観光については、過疎地域だけでなく、本市全体の基幹産業として捉えています。その重要性を踏まえ、旅館業を含む観光業に係る産業振興促進事項などを記載しています。</p>
<p>○インバウンドは、全体の観光需要の17%程度にも満たない。「観光復興の鍵は近場の需要に着目したマイクロツーリズム」と言われている昨今、「インバウンドの推進」は削除し「マイクロツーリズムの推進」に改めてはどうか。</p>	<p>いずれの施策についても本市の観光産業に効果的であることから、今後も取組を推進します。</p>

(3) 第4章 地域における情報化 1件(1人)

意見の概要	市の考え方
<p>○移住者の暮らしを定着させるためには通信環境の整備が不可欠と実感している。総務省「地域型テレワーク・トライアル・プログラム」の活用など、移住・二拠点居住・企業立地・起業を想定した情報化整備事業を追加してほしい。</p>	<p>情報化の推進については、全市的に取り組んでおり、本計画においても、地域情報化推進事業を情報化の推進に係る対策として位置付けています。</p> <p>ご提案いただいた内容は、今後、具体的な施策展開を図る上で、参考とさせていただきます。</p>

(4) 第5章 交通施設の整備、交通手段の確保 1件(1人)

意見の概要	市の考え方
<p>○現状と問題点に、「将来的な移住・二拠点居住・企業立地・起業等による人口増を想定した問題点」を追記してほしい。その対策として、天津小湊市街地等への交通手段の確保(通勤)を追加してほしい。</p>	<p>バス路線については、引き続き利便性向上を図り、利用の促進に取り組むことを現状と問題点に記載しています。</p> <p>ご提案いただいた内容は、今後、具体的な施策展開を図る上で、参考とさせていただきます。</p>

(5) 第6章 生活環境の整備 5件(4人)

意見の概要	市の考え方
<p>ア 上水道対策</p> <p>○四方木地区は水道未普及地域であることから、井戸水や湧き水の浄化設備の整備に対する支援をして欲しい。</p>	<p>生活用水を確保するために必要な設備整備の支援事業として、生活用水確保対策事業を事業計画に位置付けています。</p>
<p>オ 防災・防犯対策</p> <p>○現況と問題点に「地区孤立を想定した対応」を追記してほしい。(オフグリッド小屋:災害時の電力確保、自律分散型水循環システム)</p>	<p>ご意見を踏まえ、防災・防犯対策に係る現況と問題点において、「孤立地区の発生」を危機管理に関する課題として追記しました。</p> <p>なお、自主防災組織育成事業として、自主防災組織が行う避難場所の整備等を補助しているほか、住宅用省エネルギー設備設置事業として、住宅用太陽光発電設備の設置等を補助しています。</p> <p>ご提案いただいた内容は、今後の防災・防犯対策の参考とさせていただきます。</p>

(6) 第7章 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進 1件(1人)

意見の概要	市の考え方
<p>○「子供食堂の運営」を追加してほしい。未使用の施設や空き家を利用し、JA、漁協組合などと連携した安価で美味しい食事を地域の子供達のために提供してほしい。</p>	<p>生活困窮者自立支援事業として、生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援事業を実施しています。</p> <p>子ども食堂については、民間を主体とする取組</p>

	<p>を支援してきた経緯があります。</p> <p>ご提案いただいた内容は、今後の子育て環境の確保や福祉の向上に係る対策の参考とさせていただきます。</p>
--	--

(7) 第13章 その他地域の持続的発展に関し必要な事項 1件(1人)

意見の概要	市の考え方
<p>イ 協働のまちづくり</p> <p>○計画策定及び計画の実行に際して、市民が関わる機会を設けて欲しい。</p>	<p>小湊まちづくり会議や5か年計画の策定にあたって開催した「かもがわ市民会議」などを通じ、多くの皆さんに地域活性化についてご意見をいただきました。</p> <p>今後も、市政運営や事業の推進にあたりご意見を伺う機会を設けていきます。</p> <p>また、本計画の進行管理については、ホームページ等での公表を予定しています。</p>

(8) その他 3件(1人)

意見の概要	市の考え方
<p>○過疎対策事業債を活用するメリットをわかりやすく記載してはどうか。</p>	<p>過疎地域に対しては、過疎対策事業債をはじめ、税制や国庫補助のかさ上げなどの支援措置があります。</p> <p>これらについては、計画には記載せず、別途、ホームページなどで制度を紹介します。</p>
<p>○当計画案の各項に記載されている「その対策」について、一部を除き既に実施している内容がほとんどで、具体性に欠ける。</p>	<p>本計画の「その対策」の記載事項については、第4次5か年計画の事業名と整合的に記載しており、具体的な内容については、事業計画欄に記載しています。なお、事業名のみ記載が多かった過疎地域持続的発展特別事業については、事業の具体的な内容と効果等を記載するように改めました。</p>
<p>○「分野別目標値」を表記している点は良いと思うが、達成できそうにない目標値はいかがなものか。</p>	<p>計画事業の着実な推進を図ることで、目標の達成を目指して取り組んでいきます。</p>

## (9) 参考意見

記載に不足があり、意見を提出できる方かどうかの確認ができなかったものについて、意見の概要のみを参考意見として掲載します。

意見の概要
<p>○小湊まちづくり会議に費やしてきた時間と意見が無駄にならないよう、天津小湊地域でしか使えない過疎債を利用し、小湊さとうみ学校を最後までやり通してください。また、早く利用できるようお願いします。</p> <p>○市政報告はやらないのですか。</p> <p>○市民の命を守る鴨川市のコロナ対策は万全ですか。災害対策は万全ですか。</p>
<p>○津波避難所として善龍寺が指定されていますが、土砂災害の危険場所にも指定されています。避難場所は、地盤も緩み、そこが避難場所になるのは危険ではないのでしょうか。危険でなくなるように早急に工事をお願いしたいです。数分の間に巨大な津浪が来ると言われています。子供は、走って小学校の避難タワーに逃げさせたいと考えておりますが、17メートルくらいの高さの津波タワーで大丈夫なのでしょうか。安全な避難場所の見直し、整備を早急にお願ひします。</p>
<p>○小湊小学校の工事が進んでいます、今、子供たちは遊ぶ場所がなく非常に困っています。新しい施設でも、地元の子供がキャッチボールをしたり、おにごっこをしたり、体力作りを気軽にできるよう、住みやすいまちづくりをお願いします。</p>
<p>○天津小湊地域の道路は、道幅が狭く車道と歩道の境がありません。せめて歩いている子どもたちや自転車で通学する子どもたちが安全に通れる道になるような整備を心から願っています。</p>
<p>○安房東中学校にない部活、人数の足りない部活は、放課後に鴨川中学校に移動して参加するなどの対応はできないのでしょうか。</p> <p>○高齢者の独り暮らしも多く、古い家で不便な暮らしをしている方もいます。空き家も空き地も増えて、近所に住む人で、危険がないように気を配っている場所もあります。過疎債を小湊地区の為に有効に利用して、住みやすい地区にしてほしいです。</p>
<p>○鴨川版 CCRC 構想を推進し、その過程で国際村を作ってはどうか。外国人労働者に「言葉の壁もあるし、仕事も大変だけど、やはり日本に来て良かった」と思ってもらえるような場を目指して頂きたい。</p>
<p>○図書館を基点とした文化複合拠点を提案します。</p> <p>駅チカで全て買い物や用事が完結する街づくり、そして遠方との交通輸送の強化を行っている場合はかなり成功している印象があります。これを鴨川小湊エリアの都市発展計画に組み込んでみてはいかがでしょうか。</p> <p>○旅館での産後ケア事業を提案します。</p>